

調べ学習 発表資料作成 海外の学校とのWeb会議

学校行事	国際交流事業		【画面サイズ・OS】10インチ・Windows10 【使用機能アプリ等】PowerPoint Teams(チャット, ファイル共有) Zoom (Zoomビデオコミュニケーション, 以下「Zoom」と表記)
内容	マレーシア姉妹校を訪問し, 日本の文化や地域の魅力等を紹介し, 異文化交流を図る。(今年度はオンライン交流会を実施。)	タブレット	【使用台数】1人1台
対象	(学年)全学年 (人数)20名 (期間)準備1か月, 交流会1日	他のICT機器	大型ディスプレイ, Webカメラ
目標	タブレットを活用して, 異文化理解を促進させるとともに, 主体的・協働的に課題を解決する力を養う。		

1 活動の流れ

<主な学習活動>

…タブレット活用場面

1 行事の目標を確認する。

異文化理解の促進や国際感覚を養い, さまざまな人と協働して課題を解決することができるグローバルなビジネスリーダーを目指す。

2 調べ学習を行う。【1】

インターネットを活用し, 各自でマレーシアの生徒に伝えたい日本の文化や地域の魅力などについて調べる。また, 英語での自己紹介も作成する。



3 グループで協働し発表資料の作成を行う。【2】

グループで役割分担を行い, プレゼンテーションソフトを活用し, メンバーと相談しながら発表資料を作成する。資料は共有できるよう Teamsにアップロードする。

4 Web会議を利用し, 海外の生徒に向けて発表する。【3】

Zoomを活用し, マレーシアの生徒と交流を行う。グループで作成したスライドをもとに日本の文化や地域の魅力, 学校紹介を行う。

5 アンケートを行う。

行事の振り返りを行うため, タブレットにて回答する。

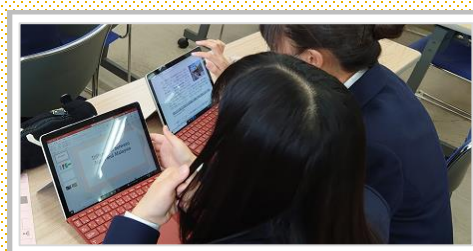
2 タブレット活用の効果

【1】調べ学習



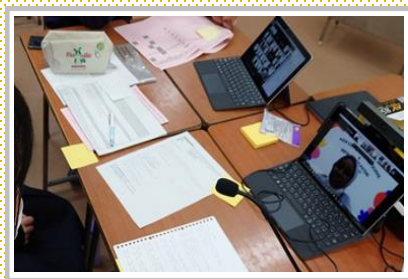
日本の文化や地域の魅力などを調べたり、英語での自己紹介を考える際にインターネットを活用した。調べた結果などをまとめたファイルを各自のタブレットで保存できるため、校内だけでなく家庭でも効率よく作業を進めることができた。

【2】発表資料作成



対面で協働して資料を作成するだけでなく、Teamsを活用し、連絡や打ち合わせを行い、資料を共有することにより、時間や場所に捉われずに資料作成を行うことができた。

【3】海外の学校とのWeb会議



複数のタブレットを使用し、発信をするだけでなく、受け手側がどのように見えているのか確認しながら進めることができた。自己紹介をShow & Tell形式で行う際に、個人のタブレットの画面を提示したり音楽を流したりすることにより、相手に分かりやすく効果的に伝えることができた。グループでの発表も、画面共有することでスムーズに行うことができた。相手の表情や反応を見ながら話しができるので、相手校生徒とコミュニケーションを図ることができ、オンラインであっても温かみのある実りある交流会となった。

3 活用者の声

よかった点

日本の文化や地域の魅力などを調べたり、英語での自己紹介を考える際にインターネットを活用した。調べた結果などをまとめたファイルを各自のタブレットに保存できるため、校内だけでなく家庭でも効率よく作業を進めることができた。

今後に向けて

今回の取組は、オンラインではあるが、海外の生徒と交流を深めることができ、異文化理解の促進や英語学習への動機付けにもつながった。交流会では、本校側は一つのモニターから発表を行っていたため、今後はブレイクアウトルームやチャットの活用など、生徒1人1台のタブレットを使用したオンライン交流を実施してみたい。

4 他場面での活用

他校との交流場面

課題研究の時間割を他校と同じ時間で展開することにより、学校間で連携した授業を行いやすくなり、オンラインで外部講師の講演会などにも一緒に参加できる。生徒が他者と協働し課題を解決する経験や外部の人と関わる機会をより多く与えることができる。

オンライン学校説明会

中学生やその保護者が学校に足を運ばなくても、気軽に説明会に参加できる。質疑応答もお互いの表情を見ながらできるので、質問にも答えやすい。パワーポイントやビデオも活用しやすく、効果的に学校の魅力を発信することができる。